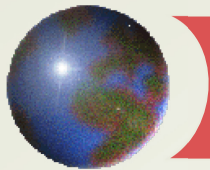


# ICANNブエノスアイレス会合 政府諮問委員会報告

2015年6月20日(土)～25日(木)

2015年7月28日  
総務省 データ通信課  
杉山 哲弘



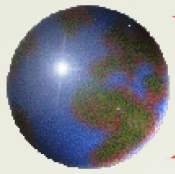
# 政府諮問委員会（GAC）の概要

## GACの活動

- ICANNの活動に関し、次の事項について政府の立場から検討、ICANN理事会に対して助言。
  - － 公共政策課題に関する事項。
  - － ICANNポリシーと各国国内法、国際協定との間で相互に関係がある事項。
- ICANNの理事会はポリシーの制定、採択においてGACの助言をしかるべく考慮しなければならない。

## GACメンバー構成

- 現在、152の国・地域の政府及び32国際機関(オブザーバー)で構成。  
(今回会合で、**キリバス共和国**及び**モーリシャス共和国**がGACメンバーとして新たに参加。)
- 今回会合には69の国・地域の政府、9国際機関が参加。
- 日本からは総務省が代表として参加。



## 政府諮問委員会 (GAC) の概要

### ● ブエノスアイレス会合での主要議題

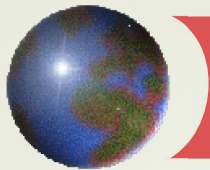
I 新gTLD(分野別トップレベルドメイン)の導入

II GACのワーキンググループの活動他

III IANA管理移管及びインターネットガバナンスの今後の展開

### ● 今後の予定

2015年10月17日～22日 ダブリンにおいて次回会合を開催予定。



# I 新gTLDの導入 1 経緯

## 1 経緯

### ① GACTロント会合コミュニケ(2012年10月17日)

GAC早期警告は11月20日公表、GAC助言は次回会合でとりまとめる予定。

[https://gacweb.icann.org/download/attachments/27132070/FINAL\\_Toronto\\_Communique\\_20121017.pdf?version=1&modificationDate=1354149148000&api=v2](https://gacweb.icann.org/download/attachments/27132070/FINAL_Toronto_Communique_20121017.pdf?version=1&modificationDate=1354149148000&api=v2)

### ② GAC早期警告(2012年11月21日)

145文字列、242の警告(日本からは、「.政府」及び「.date」の2件)

<https://gacweb.icann.org/display/gacweb/GAC+Early+Warnings>

### ③ GAC北京会合コミュニケ(2013年4月11日)

セーフガード助言とりまとめ、地理的名称等はダーバン会合で結論。

<http://www.icann.org/en/news/correspondence/gac-to-board-18apr13-en.pdf>

### ④ GACダーバン会合コミュニケ(2013年7月18日)、ブエノスアイレス会合コミュニケ(2013年11月20日)、シンガポール会合コミュニケ(2014年3月27日)、ロンドン会合コミュニケ(2014年6月25日)、

ロサンゼルス会合コミュニケ(2014年10月15日)、シンガポール会合コミュニケ(2015年2月11日)

セーフガード助言、国際機関の名称・頭文字保護等に関して、引き続き議論。

<http://durban47.icann.org/meetings/durban2013/presentation-gac-communique-18jul13-en.pdf>

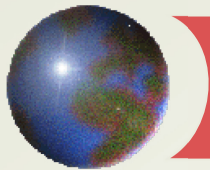
<http://www.icann.org/en/system/files/correspondence/gac-to-board-20nov13-en.pdf>

<https://gacweb.icann.org/download/attachments/27132037/Final%20Communique%20-%20Singapore%202014.pdf?version=1&modificationDate=1395925159241&api=v2>

<https://www.icann.org/en/system/files/correspondence/gac-to-board-15oct14-en.pdf>

<https://gacweb.icann.org/download/attachments/27132037/Communique%20London%20final.pdf?version=1&modificationDate=1406852169000&api=v2>

<https://www.icann.org/en/system/files/correspondence/gac-to-board-11feb15-en.pdf>



## 申請者ガイドブック(AGB)におけるGAC助言(GAC Advice)の規定

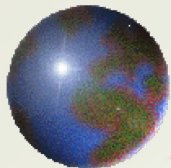
### 3.1 GAC Advice on New gTLDs (新gTLDに関するGAC助言)

GAC助言は以下のいずれかの形をとる。

1. 特定の申請に対し、審査を進めるべきではないというのが**GACの合意(コンセンサス)**である、とICANNに助言する。
2. 特定の申請に対し、懸念があるとICANNに助言する。理事会はGACと当該懸念を理解するために対話を持ち、その決定については理由を示すことが期待される。
3. 特定の申請に対し、修正すれば審査を進められるとICANNに助言する。

※**GACの合意(コンセンサス)** (GACダカール会合コミュニケ Annex II)

採択にあたり公式な反対なく合意されたもの。



## 2 GAC助言（新gTLD関連）の概要

### ● 消費者保護の観点等からセーフガード助言を行った文字列の議論

- ・金融・医療等の規制業種や免許・資格に関する文字列等から、配慮が必要とされた文字列(※1)。

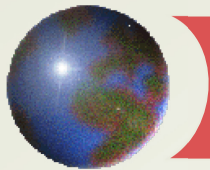
⇒新gTLDの運用の適切性の観点から、セーフガード助言の対応状況の明確化、同助言実装のベストプラクティス事例の作成・共有、悪意ある運用に対する関係者(レジストリ、レジストラ等)の共通認識の必要性及びその促進を助言。

### ● 国際機関(IGO)名称・頭文字の保護、及び赤十字/赤新月社の各国内関連名称等の保護に関する議論

⇒非公式の「スモールグループ」が、次回ダブリン会合前までに、GAC助言に沿う具体的なメカニズムの提案を策定することを要請。引き続き、現在の暫定的な保護が維持されることを要請。

(※1) .bank、.layer、.hospital 等

ブエノスアイレス会合GACコミュニケURL: <https://gacweb.icann.org/download/attachments/27132037/GAC%20Buenos%20Aires%2053%20Communique.pdf?version=1&modificationDate=1435188375963&api=v2>

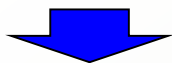


## I 新gTLDの導入 2 GAC助言（新gTLD関連）の概要

### ● 新gTLDのセカンドレベルにおける国・領土名称の解放

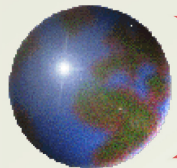
- ⇒ 新gTLDでは、セカンドレベルでの国名称の使用が、レジストリ規約により原則禁止されているが、この禁止事項に対する例外適用として、個別レジストリによる公開照会プロセスが存在<sup>(※1)</sup>しており、利用ニーズが高まりつつある。
- ⇒ このような状況から、昨年10月のロサンゼルス会合で、GACから、国名称の使用が要望される場合、関係政府に、ICANNから直接注意喚起される仕組みを助言。
- ⇒ また、本年2月のシンガポール会合では、この注意喚起の仕組みとして、まずは、注意喚起を要する国を登録したデータベースの作成について、検討していくことが合意。

(※1) 本プロセスを、これまで、.neustar、.bmw、.mini、.dvag、.tui、.spiegel、.allfinanz、.flsmidth、.emerck、.hamburg、.berlin、.honda、.axa、.epson、.hsbc、.xyz、.college、.sony、.archi、.bio、.saarland、.komatsu、.ricohが活用。



新gTLDのレジストリ規約により原則禁止されているセカンドレベルの国・領土名称の使用に向けて、同規約の例外適用の要望があった場合、政府に通知を要する名称や要件(全文字列又はブランド名称文字列のみ)を登録したデータベースを策定することが合意。<sup>(※2)</sup>

(※2) 我国からも現在規約で保護されるJapan (ISO3166-1), nihon, nihon-koku, nippon, nippon-koku, 日本, 日本国(国連地理的名称専門家グループ技術参照マニュアル(the United Nations Group of Experts on Geographical Names, Technical Reference Manual for the Standardization of Geographical Names, Part III))を登録



## Ⅱ ワーキンググループの活動他

### 1 今回議論のあったワーキンググループ

#### ① 地理的名称の保護(Protection of Geographic Names)

・設置要綱案(新gTLD将来ラウンドでの地理的名称保護に関する検討、新gTLDに関するGAC原則の関連セクションの実施状況調査、新gTLD申請者ガイドブックの実施状況調査、新gTLD将来ラウンドのルール改訂への貢献等)が、承認。今後、ワークプラン・タイムラインを検討。

#### ② 公共安全(Public Safety)

・WGでは、WHOIS、プライバシー・プロキシー認定、新gTLDレジストリ規約仕様11(マルウェアの拡散、フィッシング等への対応を規定)等に関して活動を行う予定。  
・設置要綱案が、今後、メーリングリストで回章される予定。

#### ③ GAC運用原則の見直し(Review of GAC Operating Principles)

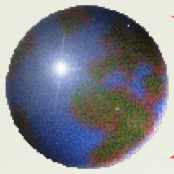
ブエノスアイレス会合で、GAC副議長の人数を3人から5人までに増やす改訂案が合意。改訂に至らなかった原則(電子投票手続き、GAC参加資格等)を改訂するため、ワーキンググループの設置が合意。

他

### 2 次回ICANNハイレベル政府会合

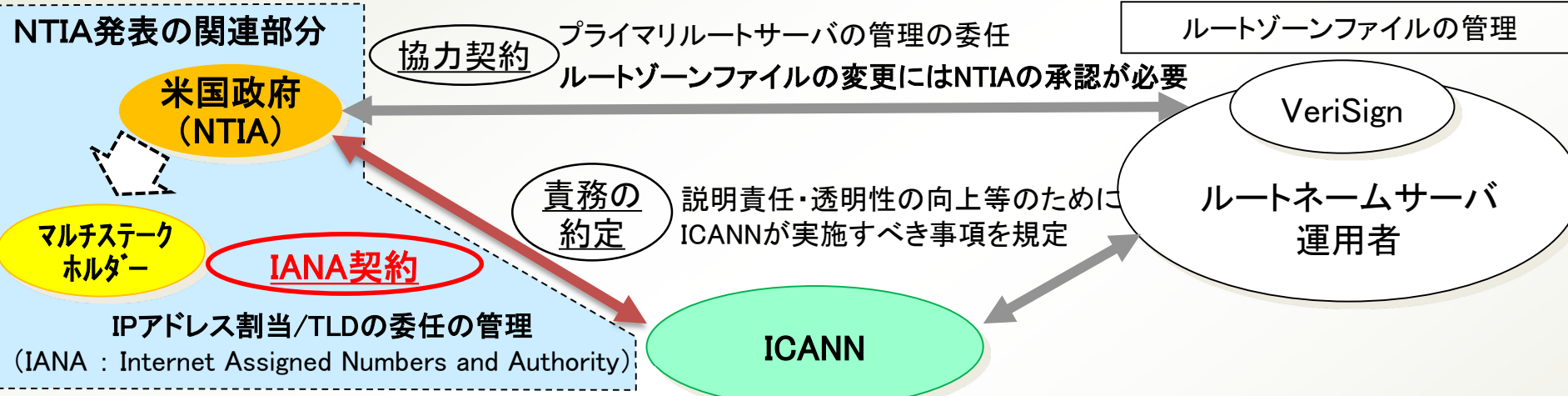
来年3月のICANNマラケシュ会合で開催予定。①幅広いコンテキストでのインターネットガバナンス、②GACでないメンバーへのアウトリーチ、③デジタルエコノミー分野での途上国のためのキャパシティビルディング等が議題の候補として挙げられた。





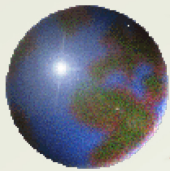
### Ⅲ IANA 管理移管及びインターネットガバナンスの今後の展開

2014年3月14日、米国・商務省国家電気通信情報庁 (NTIA) は、重要なインターネットドメイン名機能 (IANA機能を含む) をグローバルなマルチステークホルダー・コミュニティに移管する意向を発表。



#### NTIAによる3月14日付けプレスリリース(概要)

- ・この発表は、インターネットの政策策定及びガバナンスにおけるマルチステークホルダー・モデルを支持し強化するためのもの。
- ・移管提案(※)は幅広いコミュニティの支持及び4つの原則 (①マルチステークホルダー・モデルを支持し強化すること。②DNSのセキュリティ、安定性及び弾力性を維持すること。③グローバルな消費者及びIANAサービスのパートナーのニーズと期待に応えること。④インターネットの開放性を維持すること。)を満たさなければならない。  
(※) ICANNが招集したグループで検討。
- ・NTIAは、NTIAの役割を政府主導又は政府間の組織で代替するという提案は受け入れない。



# Ⅲ IANA 管理移管及びインターネットガバナンスの今後の展開

米国商務省国家電気通信情報庁 (NTIA)

移管提案の策定のため、ICANNにグローバル・マルチステークホルダーの招集を要請。

ICANN

提案提出予定 (2015/11)

2015/7/31 移管提案提出予定

→ 2015/11頃

2015/9/30 (IANA機能の契約失効)

→ 2016/6頃

米国政府との契約関係がなくなることによる説明責任の向上に関する検討を、平行するプロセスとして行うことを発表。

## ① IANA 管理移管の提案策定

### 調整グループ (ICG※1)

(※1) 各コミュニティから選出された32名。  
ICG: IANA Stewardship Transition Coordination Group

昨年9月、ICGが提案依頼書 (RFP) を公表。ネーム、アドレス、プロトコルのいずれかを選択する様式。

提案送付済 (2015/1/15)

提案送付済 (2015/1/15)

提案送付済 (2015/6)

プロトコル

番号

ネーム

IANA Plan (IETF内にWG設置)

番号資源コミュニティ (5つの地域インターネットレジストリのコミュニティで構成)

ネームに関する  
クロスコミュニティWG (CWG※3)

リエゾン等を通じ、緊密に連携

共同議長が緊密に連携

## ② ICANN の説明責任の向上

### クロスコミュニティWG (CCWG※2)

(※2) ICANN内部組織及び関連コミュニティから選出された25名。  
CCWG: Cross Community WG on Enhancing ICANN Accountability

#### 【作業】

米国政府の役割を補い、ステークホルダーの要求を満たす説明責任のメカニズムについて、2つのワークストリームに分けて検討。

(ワークストリーム1 : 2015/6策定目途)

IANA管理移管完了前の対応・実施が必要なもの

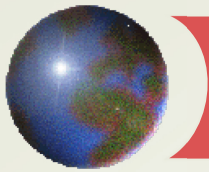
⇒ 組織のリスク評価を行うためのストレステストの検討に着手。

⇒ 5月暫定提案 (第1版) 公表、7月第2版公表予定。

(ワークストリーム2)

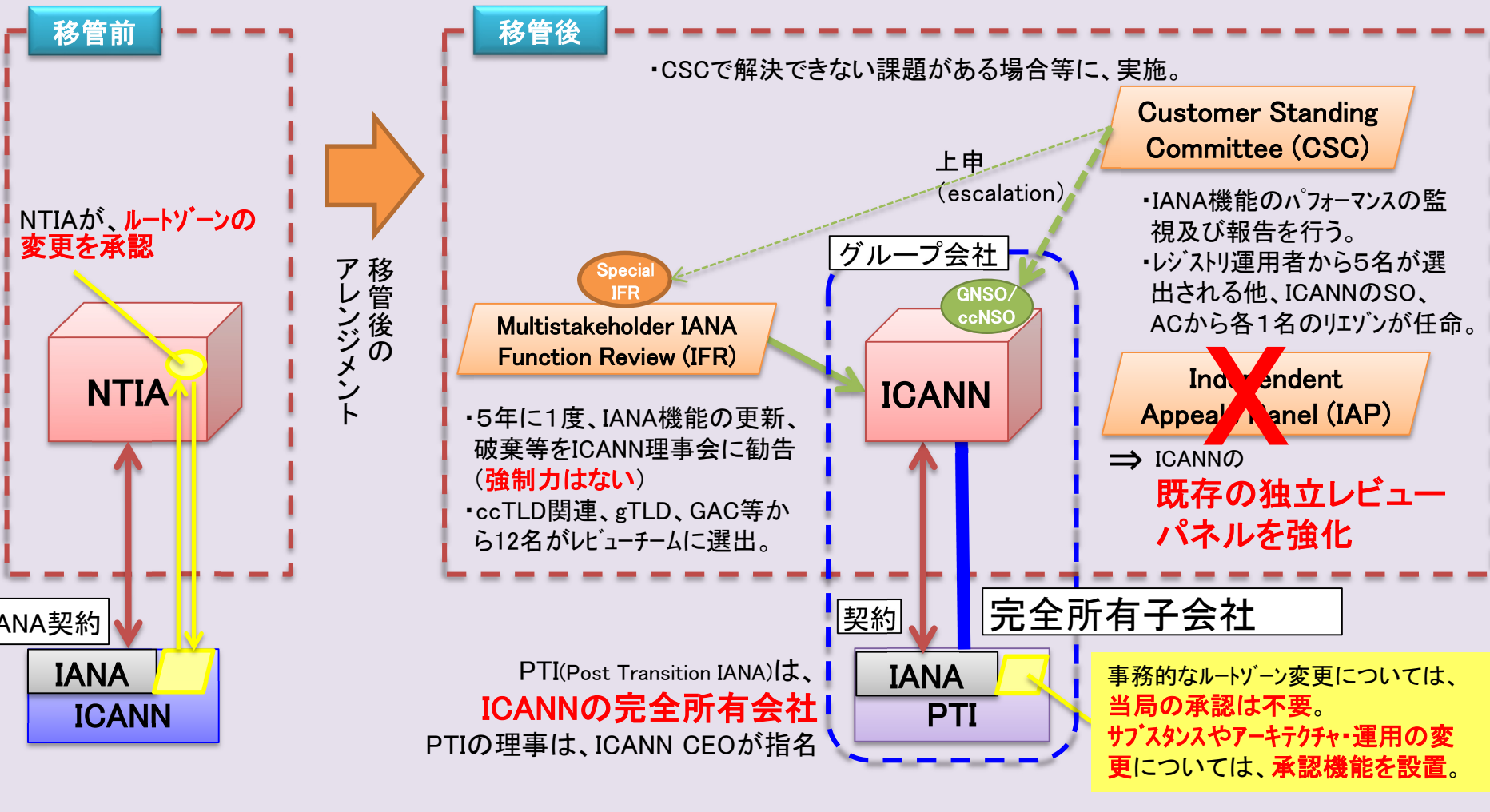
IANA管理移管完了のタイミングに間に合う必要がないもの

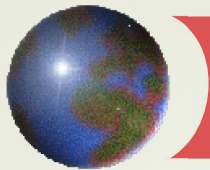
(※3) ICANNのコミュニティ横断WG。CWG: Cross community Working Group on Naming Related Functions



# Ⅲ IANA 管理移管及びインターネットガバナンスの今後の展開

CWG提案(2015年6月、ICGへ提出)





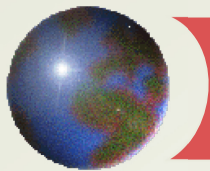
### CWG提案に関するGACでの議論

今般GAC会合では、CWGが提示した新たなメカニズム最終案を、WGの承認機関の1つ(※)として、ICGに提出することの支持を表明。

(※)ICANNのドメイン名に係る2つの支持組織(ccNSO、GNSO)及びGAC等の3つの諮問委員会で構成。  
今般会合で全ての機関が支持を表明。

### CWG提案承認に関するGACレター(2015年6月24日付け)

- ・GACは、CWGの最終提案をテークノートし、**個々の代表団によってなされたコメントに対して予断なく**、当該提案がICGに提出されることを支持。
- ・GACは、**CCWGによるICANNレベルでの説明責任のメカニズムの実施に大きく依存し明確に条件付けされる**と書かれている、CWG最終提案のパラグラフ106の条文をノートし、認識する。
- ・仮に、ICANNレベルの説明責任のメカニズムが、CWG提案で予想されるように実施されなければ、CWG提案は改訂を要する。
- ・GACは、CWG、CWG共同議長、CWGメンバー及び全ての寄与によってなされた熱心で生産的な作業への**真の謝意を表明**。



### Ⅲ IANA 管理移管及びインターネットガバナンスの今後の展開

#### (参考) IANA 管理移管に関するブラジルの意見

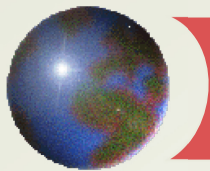
・NETmundial 声明<sup>(※)</sup>が、このプロセスで十分に達成されて欲しいと考えている。今のプロセスは、NETmundial の声明<sup>(※)</sup>に適切に取り組んでいない。議論の最初から、ある種の拘束として、ICANN がカリフォルニア州法の下設立されているという現在の法的状況にリンクしてしまっている。

(※) インターネットガバナンスのプロセスについて、ICANN が、実施・検証可能な説明責任の仕組みを備えた真に国際的でグローバルな組織となること。

・2つの作業(CWG、CCWG)が統合された提案の評価が必要で、GAC の観点から最終承認を与えることで、各国政府が承認を与えたとの誤解を生じることを懸念する。

⇒ICANN 理事の Bruce Tonkin 氏から、法的管轄に関する具体例として、ICANN のドメイン名紛争解決を挙げ、当該プロセスは、全世界中の人々が利用でき、関係者が当該解決策に満足しない場合は、各国の裁判所で争われることを説明。

⇒また、Fadi Chehade CEO は、ブラジルが言及するような完全なグローバル化とは、地理的プレゼンスに始まり、プロセス、システム、考え方全てをグローバル化することと説明。この一部は、米国政府の IANA 機能の管理移管によって達成されるが、その後も取り組んでいく必要性に言及。



# Ⅲ IANA 管理移管及びインターネットガバナンスの今後の展開

## CCWG提案第1版(コミュニティ権限強化の一部)(2015年5月4日公表)

### 移管前

理事会決定プロセス(予算、定款修正等)

⇒客足数 : 全理事の過半数

⇒意思決定 : 参加理事の多数決

(理事の罷免のみ3/4以上の賛成)

理事会  
16名(※)

- (※) 指名委員会選出 : 8名
- ASO, GNSO, ccNSO選出 : 各2名(計6名)
- At-Large(市民社会)選出 : 1名
- 事務総長兼CEO : 1名
- (注) GAC議長: 投票権のないリエゾン参加

4つの諮問委員会(助言)

GAC, At-Large, セキュリティと安定性(SSAC), ルーターバシステム(RSSAC)

ASO

GNSO

ccNSO

アドレス支持組織   分野別ドメイン名支持組織   国別ドメイン名支持組織

### 移管後

理事会  
決定

コミュニティの  
検討・請願

●以下のコミュニティでの検討・執行の法的な裏付けの要否・手法が検討。

- ①各SO, ACを任意団体とし法的membershipを付与
- ②定款のみで規定等

コミュニティの検討組織(投票権29)

- ASO, GNSO, ccNSO選出 : 各5名(計15名)
- At-Large, GAC選出 : 各5名(計10名)
- SSAC, RSSAC選出 : 各2名(計4名)

予算否決が可能

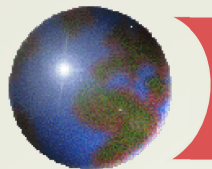
理事会の解散が可能

- ・1回目採決で2/3以上支持
- ・2回目採決で3/4以上支持
- ・SO, ACを含む2/3以上の請願で採決開始
- ・3/4以上の支持

定款修正の否決が可能

- ・3/4以上支持

コミュニティ結果  
の執行

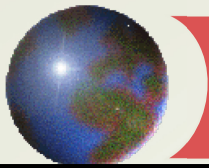


### CCWG提案に関するGACでの議論

- ・新たなメカニズムでは、管理機能を担うICANN自身の説明責任の向上が条件づけられるため、CCWG提案第2版(7月末公表予定)に向け、GACの役割や機能に関する見解を入力していくことで合意。
- ・ICANNの説明責任の向上に関する暫定提案(第1版)で重視された「コミュニティ権限強化」の中で、公共政策に関して政府が果たすべき役割・立場・適用ルール等への懸念<sup>(※)</sup>が示され、メンバーへの照会后、CCWG F2F会合に意見を入力。

### (※)GAC会合中にメンバーから示された懸念

- ・公共政策におけるGAC見解の担保手法(GACが多数決助言を重視する可能性を想定し、GACのコンセンサス(全会一致)助言のみが理事会対応必須で、それ以外(多数決助言等)は努力義務とする議論への懸念等)
- ・GACの立場(意思決定における他のコミュニティとの関係、従来の助言機能の在り方等)
- ・権限強化したコミュニティが理事会運営をのっとり公共政策を反故する懸念。
- ・第3者機構の中立性の確保・法的管轄権への懸念等。



### Ⅲ IANA 管理移管及びインターネットガバナンスの今後の展開

## コミュニティ権限強化メカニズム<sup>(※)</sup>へのGAC参加に関する主なGACメンバーの意見(CCWG)

### GAC参加に反対

(ブエノスアイレス会合後、各国の意見を集約)

○米国、英国、オーストラリア

⇒・コミュニティ権限強化メカニズムに参加し組織運営に直接関わると、諮問委員会としての助言機能を維持することが困難等との考えから、コミュニティ権限強化メカニズムには、**参加すべきでない**。

・CCWGがメンバーシップ制をとる場合、法的な影響を考える必要がある。(英国)

○デンマーク、ドイツ、イタリア、インド

⇒参加する権利を有しつつ、**現時点では、コミュニティ権限強化メカニズムに参加すべきでない**。

○日本

⇒提案が暫定的である**現時点では、コミュニティ権限強化メカニズムへの参加には慎重であるべき**。

○フランス、タイ

⇒**一部のメカニズム**(予算関連(フランス)、付随定款関連(タイ))に関して、**参加すべき**。

○アルゼンチン、ブラジル、中国、ロシア

⇒・コミュニティの権限強化メカニズムに**参加すべき**。

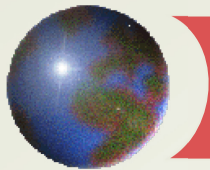
・現在のICANNの法的状況の再検討が必要。(ブラジル、ロシア)

### GAC参加に賛成

(※) 予算・戦略計画の否決、ICANN付随定款変更の否決、基本的付随定款の承認、個々の理事のリコール、理事会全体のリコール

7月17、18日のCCWGパリ会合の結果、CCWGは、GACがICANNダブリン会合までに本メカニズムへの参加に係る決定を行う必要があるとの見解を表明。





## Ⅲ IANA 管理移管及びインターネットガバナンスの今後の展開

### 今後のスケジュール(ICG、CCWGLターより)

#### フェーズ1:コミュニティによる検討

##### ■IANA機能の管理移管

7月31日～9月8日 ICGによる3機能(番号、ネーム、プロトコル)の統合提案のパブコメ  
ダブリン会合中又は11月中 ICANN理事会を通して、NTIAへ提出

##### ■ICANNの説明責任の向上

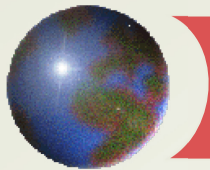
7月31日～9月8日 CCWG提案第2版のパブコメ  
10月(ダブリン会合中) チャーター組織による承認  
11月 ICANN理事会を通して、NTIAへ提出

#### フェーズ2:NTIAによるレビュー

NTIAによるレビュー期間は、議会の審査期間(30議事日)を含め、4～5ヶ月を想定。  
2016年3月頃完了。

#### フェーズ3:移管提案の実装

2016年7月までに、実装を完了。



## IV (参考) インド政府によるマルチステークホルダー支持表明

### ■ ICANNオープニング インドのマルチステークホルダー支持表明

オープニングに、**ラヴィ・シャンカール・プラサード通信IT大臣**がビデオ出演。**マルチステークホルダーの支持と促進**を表明。

#### ラヴィ・シャンカール・プラサード通信IT大臣 ビデオメッセージ

- インドは、約3億人のインターネットユーザ。携帯電話の接続は10億超。
- インターネットによって3つの変化⇒①人々の実生活の変化(オンラインバンク、教育等が、都市部だけでなく農村部でも活用。)、②インターネット利用の増加(次のインターネットの10億人は、途上国から)、③サイバー空間における国家の役割の変化。
- **インターネットガバナンスに関して**、政府は、引き続き、ネットワークをセキュアに保つことや、国民の経済的利益、生活の繁栄のために、中心的な役割を果たすが、**政府単独でこれを行うことはできず、友好国やステークホルダーとの協力なくしては、達成できない。統合された、1つのインターネットを支持**。インターネットのダイナミズムを維持するためには、1つで、多様なガバナンスモデルを構築し維持しなければならない。私たちは、**マルチステークホルダーを支持するだけでなく、これを促進したい**。インターネットの目標は、オープンであるだけでなく、グローバルでセキュアで、弾力性があること。また、**公平で、平等**でなければならない。